

問1 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市の県庁所在地に持つこの県はどこですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)

1. 神奈川県 2. 千葉県 3. 東京都 4. 埼玉県

問2 地形図や地域調査から都市の歴史の変遷を読み取る際、行田市のような城下町を起源とし、近代に産業が発展した都市で見られる景観の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 東京都公立入試 類似)

1. 灌漑用の溜池を中心として放射状に道路が整備されており、古墳群の周囲に近代的な精密機械工場が密集する景観となっている。

2. 洪水被害を防ぐための「輪中」と呼ばれる堤防に囲まれ、土地の有効活用のために碁盤の目状に区画整理された住宅地が広がっている。

3. 参勤交代の拠点となった宿場町の街並みが一直線に並び、街道沿いには蚕の飼育に適した高窓を持つ伝統的な民家が連続している。

4. 防衛上の理由から「櫛形」と呼ばれる直角に曲がる道路が配置され、近代の産業遺産である足袋蔵や鋸屋根の工場がその街並みに混在している。

問3 関東平野を貫いて流れ、日本の河川の中で最も広い流域面積を持つ一級河川の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)

1. 北上川 2. 石狩川 3. 信濃川 4. 利根川

問4 日本の外国人労働者に関する統計において、中国、ベトナム、フィリピンに次いで4番目に多い約10万人の労働者数を記録し、特に群馬県や愛知県などの工業が盛んな地域に多く居住している人々がいます。自治体の窓口においてポルトガル語での支援体制が整えられていることが多いこの人々は、どこの国にルーツを持っていますか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. ベルー 2. インドネシア 3. ネパール 4. ブラジル

問5 東京都心部の地価が周辺の郊外地域に比べて著しく高くなっている主な理由として、都市の機能と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 都心部は郊外に比べて人口密度が低く、豊かな自然環境を維持するための管理費用が地価に上乗せされているため。

2. 都心部には広大な農地や工業用地が確保されており、食料生産や製造業の拠点としての需要が集中しているため。

3. 都心部は建物の高さ制限が郊外よりも厳しいため、1階あたりの土地利用料を高く設定する必要があるため。

4. 都心部には官公庁や企業のオフィス、商業施設が高度に集積しており、土地利用の効率性と経済的価値が高いため。

問6 関東地方の内陸北部に位置し、キャベツの収穫量が全国で第2位となっている県はどこですか。この県ではレタスやほうれん草の生産も盛んに行われています。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)

1. 千葉県 2. 長野県 3. 群馬県 4. 茨城県

問7 北関東の産業の特色について述べた次の文のうち、交通網の発達と地理的条件の関係として正しいものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

1. 鉄道網の拡充によって都市部への通勤が容易になったため、工場や農地は姿を消し、地域全体が住宅都市へと変貌した

2. 沿岸部の港湾を拡大させることで大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが建設され、内陸部では伝統的な絹織物業が再興した

3. 高速道路が開通したことで内陸部の工場は沿岸部へと移転し、空いた土地を利用して大規模な稲作が行われるようになった

4. 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている

問8 日本の諸地域の自然環境に関する説明のうち、関東地方を流れる利根川の特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 火山灰が堆積したシラス台地を削りながら流れ、広大なラワンぶきを育んでいる。

2. 日本で最も長さが長い河川であり、長野県から新潟県を抜けて日本海へ注いでいる。

3. 日本で最も流域面積が広く、その広大な流域は関東地方の1都5県にまたがっている。

4. 急勾配な地形を流れるため、日本で最も水力発電の発電量が多い河川として知られる。

問9 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)

1. マサ土 2. シラス 3. 沖積層 4. 関東ローム層

問10 農業産出額が全国トップクラスであり、工業面では京葉工業地域を擁し、石油・石炭製品の製造品出荷額が県内で第1位となっている都道府県はどこですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)

1. 静岡県 2. 鹿児島県 3. 千葉県 4. 愛知県

問11 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. 政治や経済の中枢機能が集中し、就業や通学の機会が多いため

2. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため

3. 豊かな自然環境を求めて、老年人口の転入が急増しているため

4. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため

問12 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 東京都 2. 千葉県 3. 埼玉県 4. 神奈川県

問13 栃木県佐野市などにおいて、1960年代後半と1990年代後半の地形図を比較した際に見られる変化について、土地利用の観点から説明したものととして正しいものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

1. 都市部の商業地が、食料自給率を向上させるために大規模な畑へと転換されている。

2. かつては畑などの農地であった場所が、大規模な工業団地へと用途変更されている。

3. 沼地であった低湿地が、地形を変えることなくそのまま工場の排水処理施設として利用されている。

4. 森林が広がっていた山間部が、大規模な寺院が集まる宗教地区へと作り替えられている。